

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	9
サポートクラス	ガンスリンガー	Lv.1:	フォーチュネイト	性別	男
称号クラス				年齢	32
種族	アーシアン			境遇	渡来
出自 (効果)	現代人			目標	好奇心

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	21	15	9	15	9	8
ボーナス	3	7	5	3	5	3	2
クラス修正	0	2	1	0	2	1	0
他修正			1			1	
能力値	3	9	7	3	7	5	2

HP	69
MP	60
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ガンパード	10m	0	20	0	0	0	0	0
左手									
頭部									
胴部	アサルトジャケット					8			-1
補助	トリックマント					5			
装身具	鷹の目								
能力値			9	0	7	0	5	14	8
スキル	AM:魔導銃、グローリードロウ		2						
その他	カスタムガン振り分け、アイテム分		6	4				2	
総計(右)			17	24					
総計(左)					7	13	5	16	7
総計(両)									m
ダイス数			3 d	3 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	7		1	8	+ 3 d
トラップ解除	9		1	10	+ 2 d
危険感知	7			7	+ 3 d
エネミー識別	3			3	+ 2 d
アイテム鑑定	3			3	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

現在重量:	11	所持金:	12810	預金・借金:	
最大重量:	14				

所持品	
アルカナム:アーケンラブ×2	アスリートギア
	Aスマートフォン
アルカナム:グランアイン×2	サバイバルキット
	バックパック
アルカナム:イフリート×2	クイックホルスター
	漆黒の星
アルカナム:ファープニル×2	ハイMPポーション
	ハイHPポーション
アルカナム:ダグデモア×2	ポーションホルダー
	ランチボックス
	ミュージックヘッドセット
	にく

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
アーシアン:召喚	★	-	メジャー	-	自身	自動成功	1	
効果:	ダイスロールの直前に使用、それに+2d。また作成時のみ現代アイテムの価格を1%にする							
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果:	武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SL×2]							
インタラプト	1							シナリオ回
効果:	スキルを即座に終了させる							
フェイント	1	4	マイナー					
効果:	リアクション判定に-1Dする。							
アルカナム	1		パッシブ					
効果:	CL+2の種別:アルカナムを取得							
テンションアップ	1		パッシブ					
効果:	アルカナム効果中、ダメージ+1D							
リバースカード	1		パッシブ					
効果:	逆位置効果を使用可能							
グローリードロウ	1		パッシブ					
効果:	アルカナム効果中、命中達成値+2							
キャリバー	1		アイテム					
効果:	キャリバーを一個取得							
ファニング	3	5	メジャー	武器	SL+1	命中		
効果:	射撃攻撃を行う。							
キャリバーガンパード	3		アイテム					
効果:	キャリバーに攻撃力+SL×3、重量6に変更。							
アームズマスタリー:魔導銃	1		パッシブ					
効果:	命中判定+1D							
ワンコインショット	5	4	DR直前					
効果:	対象の魔法・物理防御力-SL×3							
カウンターショット	1		判定直後	武器	単体			シナリオ回
効果:	命中判定対抗、成功時攻撃阻害。							
カスタムガン	3		アイテム					
効果:	命中修正と攻撃力にSL×2割振り							

「おかしな世界に落ちたもんだ.....」
「まあ、戻ったってヤク漬けのガキと酔っ払い相手にするだけだ。それよかこっちの方がまだマシだね」
「10ドル払わずともB級映画を体感できるのはいいね。代わりに命がけってこととポップコーンがねえのがちと不満だがな」

ラスベガス在住だったアメリカ人の警官、若くして警部まで登るが、妬んだ同期に妬められてラスベガス交番へと左遷される。薬物中毒者や酔っ払いの相手にほとほと疲れ切っていたところ、妻が急死。人生に諦めを覚えていた時にアリアンロッドの世界へ召喚される。

訳が分からず.....と言うわけでもなく、日本人の妻が生前ライトノベルにハマっており、その話を常々聞いていた。楽しそうな妻の顔を眺めるのが唯一の楽しみだったため、異世界に対して嫌悪感はない。「奥さんからの贈り物かもな」と本人は嬉しげに語る。

召喚者は望んでいたものと違う者が来たため呆れて何処かへ行った。生きる為に警官としての洞察力を駆使して経験を重ねていき、冒険者としてそれなりに暮らしている。

この世界に来て一番驚いたのは魔導銃の存在、スパイ映画に憧れていた節もある為、しがらみなくぶっ放せることに少し喜びを覚えている。

レガシー+2D
アサジャ+1D
テンション+1D
トリックマント+2D
フェンサー+4D
アリーナ+2D

